



第23回秋田県障害者技能競技大会

7月12日（金）に、秋田市にぎわい交流館AUにて、第23回秋田県障害者技能競技大会（アビリンピックあきた大会2024）が行われました。

この大会は、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方々に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的としています。

本校高等部からは、ビルクリーニング部門に1名、喫茶サービス部門、ワードプロセッサ部門に加え、今年度から新設された写真撮影部門にそれぞれ2名ずつ、計7名の生徒が参加しました。

ビルクリーニング部門では「きびきびとした動き」、喫茶サービス部門では「笑顔と思いやり」、ワードプロセッサ部門では「素早さと正確性」、写真撮影部門では「一瞬を逃さない集中力」をキーワードに、本番まで練習を重ねてきました。

惜しくも入賞は逃してしまいましたが、閉会式後に生徒たちからは、「全力を出し切れた。がんばってよかった」、「冬の県南地区の大会にも絶対に出場したい」といった前向きな言葉が聞かれました。この大会に向けて積み重ねてきた努力や経験を、今後の生活に生かしていければと考えています。7人の生徒に大きな拍手を送りたいと思います。



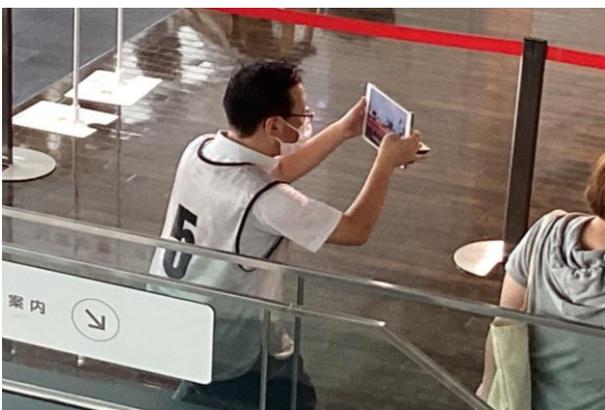
ビルクリーニング競技では、きびきびと床や机を磨き上げていきました。



喫茶サービス競技では、笑顔と思いやりの気持ちを忘れず接客をしました。



ワードプロセッサ部門は制限時間の中で、素早く正確に課題の文章を作成しました。



写真撮影部門は、参加選手の一瞬の表情を逃さないよう、集中して撮影しました。